

衛生学講座

プロフィール

1. 教室員と主研究テーマ

教授	杉原 直樹	歯科疾患の疫学的研究
	眞木 吉信	フッ化物応用に関する研究
講師	石塚 洋一	臨床実習中における「口臭に関する講義および口臭検査実習」の教育効果
大学院生	佐藤 涼一	ラット顎下腺における時計遺伝子発現解析
	鈴木誠太郎	自立高齢者における GOHAI スコアと関連する要因
	小野瀬祐紀	成人集団における歯冠部および根面う蝕のコホート研究
	江口 貴子	小学生におけるう蝕罹患状況に関連する生活習慣および口腔環境についての疫学的研究

2. 成果の概要

1) 臨床実習中における「口臭に関する講義および口臭検査実習」の教育効果

口臭に関する知識の向上・定着を図るために、東京歯科大学では、新たな教育プログラムとして、臨床実習期間中に「口臭に関する講義および口臭検査実習」（以下、口臭プログラム）を実施することになった。本研究は、そのプログラムの評価について検討したものである。平成 24 年度に東京歯科大学で臨床実習を行った第 5 学年（第 119 期生）128 名を対象とした。口臭プログラムの受講前後にプレテスト、ポストテストを行い、その平均正答率を比較したところ、それぞれ 38%、91%であり、口臭プログラムの実施によって有意に上昇した ($p < 0.01$)。さらに、口臭プログラムに関するポストアンケートを実施したところ、すべての学生が口臭に関する興味を持つことができたと回答した。口臭に関する教育において、受動的な学習手法と能動的な学習手法を組み合わせることにより、学生の知識の向上・定着および興味につながるが示された。

日本口臭学会会誌, 7(1):19-25, 2016

2) 睡眠時無呼吸症候群と自己評価による口腔健康状態との関連性について

本調査は、睡眠時無呼吸症候群のリスクと自己評価による口腔健康状態との関連を検討するためにインターネットを用いて検討を行った。「あなたは睡眠中にいびきを指摘されたことがありますか？」と「日中に強い眠気を感じる場合がありますか？」の二つの質問に対し、両方とも「はい」と回答した 493 名を睡眠時無呼吸リスク群とし、「いいえ」と回答した 2560 名を対象群とした。睡眠時無呼吸症候群のリスクの有無を従属変数とした多重ロジスティック回帰分析の結果、「口が開きにくいこと」、「口が渇く」、「口臭がする」、「歯肉から出血がある」の 4 項目で関連性を認めた。したがって、睡眠時無呼吸症候群を治療することによって、口腔内の状態が改善される可能性が示唆された。

The Bulletin of Tokyo Dental College, 57(3):175-181, 2016

3) ホワイトカラーにおける定期的な歯科受診に関連する要因について

本研究はホワイトカラーを対象とし、定期的な歯科受診に関与する要因を明らかにすることを目的として、インターネット調査を行った。30-69 歳の対象者のうち、職業を教師、事務、営業、管理職と回答した者をホワイトカラーと定義した。アンケート内容は世帯年収、労働環境、生活習慣、口腔清掃習慣、定期的な歯科受診の有無とした。男性 561 名、女性 462 名の計 1023 名のホワイトカラー労働者を対象とした。従属変数を定期的な歯科受診の有無とした多重ロジスティック回帰分析を行った結果、平日の朝食にかける時間が 5 分以上の者、就寝前の歯磨きをしている者、年収、歯磨きにかかる時間が長い者、仕事に働き甲斐があると感じている者で定期的な歯科受診をしている者が多かった。したがって、ホワイトカラーに代表される成人集団では、労働環境、生活習慣、口腔清掃習慣が定期的な歯科健診と関連がある可能性が示唆された。

Dentistry, 6(5):1000374, 2016

4) 自立高齢者における GOHAI スコアと関連する要因

自立高齢者を対象として口腔保健関連 Quality of Life (QOL) の 1 つである General Oral Health Assessment Index (GOHAI) を使用し、口腔内状態、歯科受診行動、生活環境に関する因子と口腔関連 QOL との関連を明らかにすることを本研究の目的とした。60 歳から 86 歳までの千葉県内の 2 つの老人施設利用者を対象者とした。自記式無記名の質問紙調査を行い、質問紙を回収した 198 名中、いずれかの質問項目に欠損があった者および GOHAI スコアが算出できなかった者を除外し、解析対象者は 145 名（男性 21 名、女性 124 名）であった。多重ロジスティック回帰分析を行った結果、現在歯数が多いこと、主観的咀嚼能力が高いこと、定期的な歯科健診を受けていることと高得点群との間に関連を認めた。従って、現在歯数を減少させず、主観的咀嚼能力を高く維持させ、定期的な歯科健診を推進することが、口腔保健関連 QOL を高く維持するために重要であることが示唆された。

口腔衛生学会雑誌, 66(5):452-457, 2016

3. 科学研究費補助金・各種補助金

研究代表者	研究課題	研究費 科研費の場合は種別も記載
杉原 直樹	歯周病メンテナンス期における歯磨剤の効果	花王株式会社 委託研究費
眞木 吉信	イオン歯ブラシ（ランパル）の唾液分泌促進効果	フクバデンタル株式会社 委託研究費
眞木 吉信	リチウム電池内蔵イオン歯ブラシによる唾液分泌の変化とそれに伴う口腔環境と口腔機能の改善試験	フクバデンタル株式会社 委託研究費

4. 研究活動の特記すべき事項

受賞

受賞者名	年月日	賞名	テーマ	学会・団体名
石塚 洋一	2016. 10. 27	示説 (ポスター) 賞	勤務形態の違いによる口腔内の状態及び口腔保健行動の比較	第 75 回日本公衆衛生学会総会
鈴木誠太郎	2016. 10. 27	示説 (ポスター) 賞	成人における定期的な歯科受診に関与する要因について	第 75 回日本公衆衛生学会総会
佐藤 涼一	2017. 3. 23	Salivary Research Group Award	Clock gene' s expression in submandibular acinar and ductal cells	95th General Session & Exhibition of the International Association for Dental Research

シンポジウム

シンポジスト	年月日	演題	学会名	開催地
眞木 吉信	2016. 5. 29	水道水フロリデーションを目指す地域現場からの声	第 65 回 日本口腔衛生学会・総会	東京都 文京区

眞木 吉信	2016. 9. 17	フッ化物配合歯磨剤とチタンインプラント周囲炎に関する日本口腔衛生学会の見解－チタンインプラント利用者にもフッ化物配合歯磨剤の利用を推奨する－	第 46 回公益社団法人日本口腔インプラント学会学術大会	名古屋市
-------	-------------	------------------------------------------------------------------------	------------------------------	------

学会招待講演・特別講演・教育講演

講演者	年月日	演題	学会名	開催地
眞木 吉信	2016. 12. 10	教育講演Ⅱ 「食べる機能を支えるしくみ」	第 7 回日本歯科衛生教育学会総会・学術大会	東京都文京区

学術学会に相当しない団体が開催するセミナー・研究会・カンファレンス等における発表・講演

講演者	年月日	演題	会合の名称	開催地
眞木 吉信	2016. 4. 13	フッ化物をめぐる新しい動向	江戸川区歯科医師会	東京都江戸川区
眞木 吉信	2016. 4. 20	フッ化物応用の新しい考え方と反フッ素の誤解を解く	中央区京橋歯科医師会	東京都中央区
眞木 吉信	2016. 6. 4	歯根面う蝕の予防と治療の指針－フッ化物の応用を中心に－	東京歯科大学老年歯科補綴学講座同門会	東京都千代田区
眞木 吉信	2016. 6. 5	フッ素配合歯磨剤が普及した今だからこそ、歯科医院でしか伝えられないフッ素の話	眞木吉信教授フッ素セミナー 第 30 回	東京都中央区
眞木 吉信	2016. 6. 18	“フッ素についての 10 の真実”のエビデンス・レベルを検証する	全国歯科衛生士教育協議会 平成 28 年度東海地区歯科衛生士教育協議会	名古屋市
眞木 吉信	2016. 7. 25	保健・医療・福祉論－フッ化物応用と保健・医療・福祉の実践－	歯科衛生士専任教員講習会Ⅰ	名古屋市
眞木 吉信	2016. 7. 28	歯科衛生士の復職支援プログラムについて	全国歯科衛生士教育協議会 平成 28 年度近畿北陸地区歯科衛生士教育協議会	大阪市
眞木 吉信	2016. 8. 18	「健康格差を考える」	全国歯科衛生士教育協議会 平成 28 年度四国地区歯科衛生士教育協議会	松山市
眞木 吉信	2016. 8. 22	歯科医学概論－「フッ素についての 10 の真実」とチタンインプラントへのフッ化物応用のエビデンス・レベルを検証する－	歯科衛生士専任教員講習会Ⅲ	横浜市
眞木 吉信	2016. 9. 3	「歯科衛生過程はなぜ必要か」	全国歯科衛生士教育協議会 平成 28 年度九州地区歯科衛生士教育協議会	鹿児島市

眞木 吉信	2016. 9. 19	「フッ化物応用の科学的アプローチ この5年間の様変わりを解きほぐす」	沖縄県歯科医師会	島尻群 南風原町
杉原 直樹	2016. 9. 21	根面う蝕の予防的アプローチ ー診断基準、疫学的特徴、 リスクファクター、予防ー	平成28年度芳賀歯科医 師会学術研修会	芳賀郡 益子町
眞木 吉信	2016.10. 2	フッ素配合歯磨剤が普及した 今だからこそ、歯科医院でしか 伝えられないフッ素の話	眞木吉信教授フッ素 セミナー 第31回	東京都 中央区
眞木 吉信	2016.10.23	「カリエスリスクに応じたフッ 化物応用の科学的アプローチ」	福島県歯科衛生士会	郡山市
眞木 吉信	2016.11. 1	「幼児歯科健康診査及び フッ化物歯面塗布研修会」	鴨川市健康推進課	鴨川市
眞木 吉信	2016.12. 3	「国際保健」	JAICOH 秋期研修医会	東京都 千代田区
眞木 吉信	2017. 1. 20	チェック・アップのGYA について 薬用ハミガキ FZMI について	薬事・食品衛生審議会 化粧品・医薬部外品部会	東京都 千代田区
佐藤 涼一	2017. 2. 19	ラット顎下腺導管細胞の時計遺 伝子 Bmal1 発現解析	寺山財団奨学生集いの会	神戸市
眞木 吉信	2017. 2. 24	成人・高齢者へのフッ化物応 用を検証する	神奈川歯科大学学会 研究談話会	横須賀市

5. 教育講演等教育に関する業績、活動

教育ワークショップ・FD 研修

講演者	年月日	ワークショップ名	役割	開催地
石塚 洋一	2016.10. 1	第18回 東京歯科大学 試験問題 作成に関するワークショップ	受講者	東京都 千代田区
石塚 洋一	2016.10.25	平成28年度教育ワークショップ 「臨床実習中の基礎科目教育の 在り方について」	委員	東京都 千代田区

共用試験

氏名	年月日	種別	役割	開催地
石塚 洋一	2017. 2. 15	平成28年度 東京歯科大学 共用試験 CBT 本試験	試験監督	東京都 千代田区
石塚 洋一	2017. 2.25-26	東京歯科大学「2017年度共用試 験歯学系 OSCE」	補助係	東京都 千代田区
石塚 洋一	2017. 3. 7	平成28年度 東京歯科大学 共用試験 CBT 追・再試験	試験監督	東京都 千代田区

教育用ソフトウェア・ハードウェアの開発

制作者	年月日	種別	名称・内容
衛生学講座	2016. 7. 12	Web ソフト	歯科健康診断（検診）後の事後措置と保健指導

他の大学・研究機関等における学生・大学院生を対象とする講義

担当者名	年月日	テーマ・演題	大学・機関	所在地
眞木 吉信	2016. 6. 27	医事法制	東北大学歯学部	仙台市
眞木 吉信	2016. 7. 4	歯科管理学	東北大学歯学部	仙台市
眞木 吉信	2017. 3. 23	All you need to know about Fluoride in Dentistry	Universitas Indonesia	Jakarta, Indonesia

学術学会に相当しない団体が開催するセミナー・研究会・カンファレンス等における発表・講演

講演者	年月日	演題	講演会名	開催地
石塚 洋一	2016. 7. 27	歯科衛生士法を含む、現在の歯科衛生士の役割を考えると蝕活動性試験等の実施	平成 28 年度 公益社団法人 東京都歯科衛生士会 主催 第 3 回 再就業支援 研修会	東京都 荒川区

6. 社会的貢献・社会に対する活動

医学の啓蒙を目的とする講演会（市民を対象とするもの）

講演者	年月日	演題	講演会名	開催地
眞木 吉信	2016. 5. 14	フッ素の有効利用でむし歯のない社会を	いわき市歯科医師会	いわき市
眞木 吉信	2016. 8. 5	「フッ素についての 10 の 真実」のエビデンス・レベルを検証する	鴨川市健康推進課「フッ化物洗口事業研修会」	鴨川市
杉原 直樹	2016. 8. 20	むし歯とお菓子の関係 —なぜ「キシリトール」はむし歯にならないか？—	L 歯科クリニック 特別セミナー	東京都 練馬区
石塚 洋一	2016. 10. 24	知っていますか？ 食育と歯科の深〜い関係！	東京歯科大学 平成 28 年度 市民公開講座	東京都 千代田区
石塚 洋一	2016. 12. 5	「歯周病の予防と口臭撃退法！」	足立区足立保健所千住保健総合センター平成 28 年度歯周病予防セミナー	東京都 足立区
石塚 洋一	2016. 12. 6	お口のケアで健康づくり	フッ化物洗口研修会	四街道市
石塚 洋一	2016. 12. 27	お口のケアで健康づくり	フッ化物洗口研修会	船橋市

眞木 吉信	2017. 1. 18	「噛むことはあいなのだ ～子どもの歯～」	平成 28 年度文部科学省 委託事業 保護者のための 歯科保健講演会	金沢市
眞木 吉信	2017. 1. 19	「思春期の歯科保健指導をどう するか」	平成 28 年度文部科学省 委託事業 高等学校歯科 保健指導者実践発表会	金沢市
石塚 洋一	2017. 2. 7	お口のケアで健康づくり	フッ化物洗口研修会	袖ヶ浦市